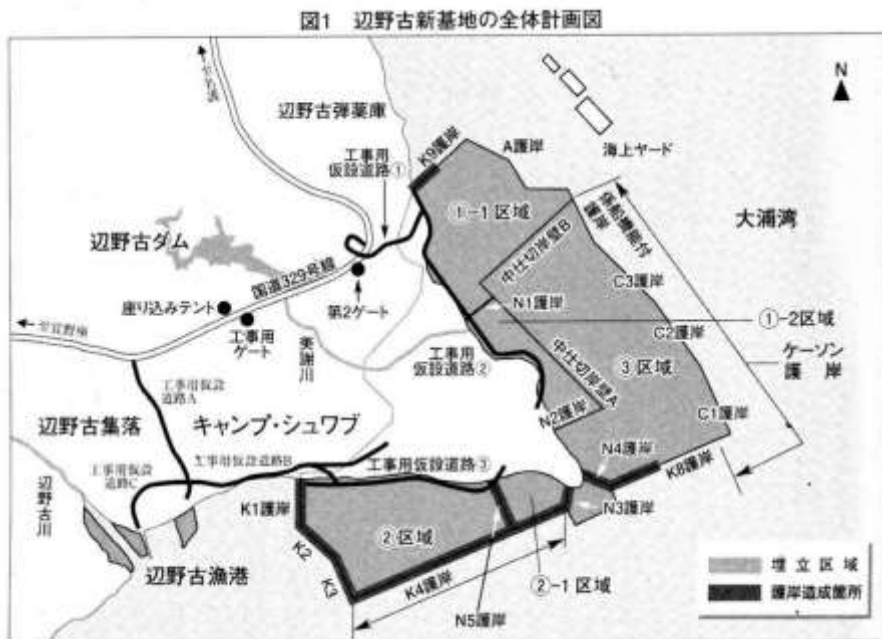


違法な土砂投入を中止せよ

辺野古新基地建設反対! 沖縄の民意に従え!



◆昨年12月25日、防衛省は辺野古新基地建設工事について沿岸海域の埋め立てや護岸造成などの工期を約12年と報告しました。日米合意で「2022年度またはその後」としてきた普天間飛行場の返還時期は30年代半ば以降にずれ込むことを公式に認め、想定工費も当初の27倍にのぼるものでした。

◆ところが、その報告に

あたって、前提となるべき「超軟弱地盤」のデータが隠蔽されていたことが発覚しました。専門家チームが、このデータを基に護岸の安定性を試算したところ、国の要求水準を満たさないことが分かり、最悪の場合、埋め立てた盛り土が崩れ、護岸が崩壊する恐れがあることも指摘されました。

◆しかし、防衛省は『緊急事態宣言』が全都道府県に適用されて、沖縄県が対応に忙殺されている最中の4月20日に「建設計画変更申請」を提出し、沖縄県議会議員選挙で埋め立て反対議員が過半数(29/48)を占めても埋め立て工事を再開しました。

◆都合の悪い事実は隠し、民意を無視して「命の海」をころしてしまふ暴挙を止めさせましょう。

元京都市の土木技師で、情報公開請求により行政情報を分析し、数々の問題点を指摘してこられた北上田毅さんをお招きしての講演会を準備しました。無理のない範囲でご参集ください。



北上田毅さん講演会

辺野古・変更申請の概要と問題点

■日 時 2020年7月27日(月) 18:30~21:00

■場 所 ひと・まち交流館 京都 第4・第5会議室

■参加費 500円(割引 応相談)

連絡先 辺野古埋め立て反対! 京都実行委員会 090-4643-2940(増野)